

第1号議案

平成28年度事業報告

1 企画調整活動

(1) 第24回総会の開催

日時：平成28年5月26日（木）13:00～

場所：和歌山ビッグ愛 801号室

議題：平成27年度事業報告・決算報告、会則改正案、平成28年度事業計画案・予算案、役員改選案

(2) 幹事会の開催（場所 いずれも NPO 法人市民の力わかやま事務所、時間：16:30～18:30）

① 第1回幹事会（日時：平成28年4月25日（月））

議題：講演会、総会議案等の審議、臨災サポーター募集、IODD 報告、その他

② 第2回幹事会（日時：平成28年7月28日（木））

議題：講演会報告、ハック・ユア・タウン2016 報告、臨災サポーター募集、橋本市ワークショップ、その他

③ 第3回幹事会（日時：平成28年10月11日（火））

議題：地域情報化フォーラム、個人情報保護企画案、県長期総合計画、部会報告、その他

④ 第4回幹事会（日時：平成28年11月21日（月））

議題：防災・日本再生シンポジウム、地域情報化フォーラム、その他

⑤ 第5回幹事会（日時：平成28年12月21日（水））

議題：防災・日本再生シンポジウム報告、地域情報化フォーラム、IODD、オープンデータソン、その他

⑥ 第6回幹事会（日時：平成29年2月9日（水））

議題：地域情報化フォーラム、IODD、オープンデータソン、総会・講演会、部会報告、その他

⑦ 第7回幹事会（日時：平成29年3月24日（金））

議題：総会議案等の審議、講演会について、IODD 報告、オープンデータソン報告、その他

2 普及啓発活動

(1) 講演会の開催（Ustream でライブ配信）

日時：平成28年5月26日（木）14:30～（総会后）

場所：和歌山ビッグ愛 801号室

内容：（コメントシステムを使用）

テーマ：「新時代の行政サービス」

① 講演「PUSH 型行政サービスへの転換」

講師：吉本明平氏（一般財団法人 全国地域情報化推進協会（APPLIC）企画部 担当部長）

② パネルディスカッション

パネリスト

吉本 明平氏

蛭本 義治氏（橋本市 健康福祉部 健康課 課長）

新 ゆり氏（株式会社 サイバーリンクス 地域連携事業室 医療連携セル）

コーディネータ：道本浩司（WIDA 事務局長）

参加者数：62名



(2) わかやま地域情報化フォーラムの開催

「医療・健康・介護等の情報連携による今後の展望」

日時：平成 29 年 1 月 27 日（金）13:30～16:45

場所：和歌山ビッグホエール 軽運動場

内容：（コメントシステムを使用）

①基調講演「医療・健康データの利活用基盤高度化の今後」

講師：田中一也氏

（総務省 情報流通行政局 情報流通振興課 情報流通高度化推進室課長補佐）

②先進事例の講演「医療ネットワーク岡山 晴れやかネットの取り組み紹介」

講師：秋山祐治氏

（「晴れやかネット」常任理事、川崎医療福祉大学副学長）

③パネルディスカッション「医療情報連携の課題と現状・今後の在り方」

コーディネータ：入江真行（和歌山県立医科大学 先端医学研究所 医療情報研究部 准教授、WIDA 幹事）

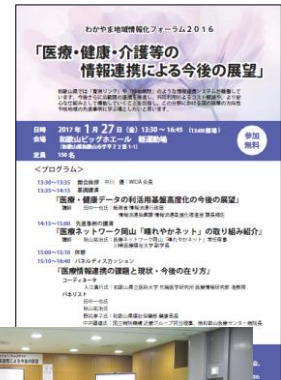
パネリスト：

田中一也氏、秋山祐治氏

野尻孝子氏（和歌山県福祉保健部 健康局長）

中井國雄氏（国立病院機構 近畿グループ担当理事、南和歌山医療センター病院長）

参加者数：71 名



(3) 「橋本創生☆政策立案ワークショップ」主催

主催：橋本市、和歌山県情報化推進協議会

日時／場所：

第 1 回 平成 28 年 7 月 29 日（金）14:00～17:00

／橋本市教育文化会館第 1 研修室

第 2 回 平成 28 年 9 月 30 日（金）14:00～17:00

／橋本市保健福祉センター集団指導室

内容：

①趣旨説明

②レクチャー：奈良先端科学技術大学院大学新井イスマイル氏 他

③グループ編成・グループワーク

④発表、総括、講評

参加者数：第 1 回 20 名、第 2 回 31 名



・2 回の WS を受けて平成 29 年 2 月 12 日に橋本市主催で橋本創生☆政策立案コンテストが開催された（WIDA が参加団体募集などのサポートを行った）

(4) 「第 20 回サイバー犯罪に関する白浜シンポジウム」への協賛

主催：サイバー犯罪に関する白浜シンポジウム実行委員会

日時：平成 28 年 5 月 19 日（木）～21 日（土）

場所：和歌山県情報交流センターBig・U（田辺市）および ホテルシーモア（白浜町）

3 調査研究活動

(1) 調査研究部会

- 1) ICT 利活用普及部会：ICT 利活用の最新事例紹介や意見交換等
部会長：満田 成紀（和歌山大学システム工学部准教授）

・「ハック・ユア・タウン 2016 in わかやま」主催

協力：和歌山県、観光情報学会、株式会社ナビタイムジャパン

日時・場所：

（ハッカソン期間）平成 28 年 6 月 16 日（土）～21 日（金）

（表彰式）平成 28 年 7 月 2 日（土）12:00～

場所：県民文化会館中会議室（和歌山市小松原通 1-1）

概要：観光情報学会開催に合わせた初の試みとして、学生を対象としたハッカソンを実施。オープンデータ活用促進の一環として、県内のオープンデータと観光データを組み合わせたアプリケーションを開発する。

参加チーム（9 チーム）決定後（6 月初め）、事前準備期間（6/6～6/15）を経て、ハッカソン初日に開発テーマとして地域課題を複数提示し、参加チームはいずれかの解決に役立つアプリケーションを期間内（6/16～6/22）に開発。締め切り後、審査会（6/27）を実施し、ソースコードも含めた審査を行い、表彰作品を決定。

表彰式（7/2）には入賞チーム（4 チーム）に集ってもらい、その場で最優秀賞、優秀賞、技術賞、アイデア賞を発表し、表彰。（表彰状と副賞授与）

参加：ハッカソンへの参加チーム 9 チーム（合計 27 人）

和歌山大学 4 チーム、和歌山高専 5 チーム

表彰作品：最優秀賞：チーム名：筍林（和歌山高専チーム）

アプリケーション名：あの作品、緑の地へ



・「オープンデータソン in 和歌山市」主催

後援：和歌山市

協力：和歌山市民図書館、オープンデータ京都実践会

日時：平成 29 年 2 月 18 日（土）10:15～16:30

場所：和歌山市民図書館 3 階ホール

内容：

①概要説明

②オープンデータに関するレクチャー

③班分け、まち歩き

・和歌山城グループ／市堀川グループ

④会場に戻って編集作業

⑤成果発表

参加者数：29 名



・「インターナショナルオープンデータデー 2017 in Wakayama」共催

主催：IODD 2017 in Wakayama 実行委員会

共催：和歌山県情報化推進協議会（WIDA）、Wacker、和歌山県

日時：平成 29 年 3 月 4 日（土）13:00～16:30

場所：和歌山県立情報交流センター Big・U

内容：

①開会挨拶

②講演 「OpenStreetMap の実践と活用」



瀬戸寿一氏（東京大学空間情報科学研究センター特任講師）

③グループに分かれての活動

- ・グループ1：オープンデータでモバイルアプリをつくろう！

エンジニアや高専生を中心に、和歌山県の公開するオープンデータを使いやすく編集し、データを可視化するアプリに地図表示を加える、必要な要件を追加する等の活動を実施
<http://wmap.wacker.io/#home>

- ・グループ2：地域課題解決とネット活用ー実務者からの視点ー
株式会社サイバーリンクス水間氏より、今後、データを活用し、ビジネスを展開していくうえで必要な要素についてご講演、その後データ利活用の様々な期待、不安、現状分析と問題等が提示され、それらを元にディスカッション。

④全体で取組発表

参加者数：24名



2) 教育 ICT 導入研究部会：県内各公立小中学校等の校務用 ICT 機器の導入準備をはじめとした教育分野の ICT 利活用の研究等

部会長：佐藤 周（和歌山大学経済学部教授）

和歌山県教育委員会総務課と協議し、次年度に県内市町村に参加を呼びかけて、県内で統一した校務システム導入に向けた勉強会を発足させることで合意した。3月には県内市町村に参加の意向調査を行い、複数の市町村の参加する見込みとなっている。

3) 防災研究部会：災害発生時に必要となる情報共有・広報活動について、情報通信・放送など多様な情報基盤を活用するための研究等、臨時災害放送局サポーターの登録や、災害時に被災者を支える災害情報・生活情報を速やかに提供できるシステム構築を目指す。

部会長：仲山 友章（日本放送協会和歌山放送局局長）→10月より交代：塚田 晃司（和歌山大学システム工学部准教授）

- ・防災・日本再生シンポジウム「災害時における情報流通ー被災地の情報を如何に入手するか、如何に伝えるかー」共催

主催：国立大学法人 和歌山大学

共催：一般社団法人 国立大学協会、和歌山県情報化推進協議会（WIDA）

日時：平成28年12月11日（日） 13:00～17:00

場所：和歌山県立情報交流センターBig・U 多目的ホール

内容：

①シンポジウムの全体構成について

和歌山大学システム工学部准教授 塚田 晃司

②講演『熊本地震に見る臨時災害放送局の役割』

講師：村上隆二氏（熊本シティエフエムパーソナリティ）

③講演『近畿における臨災局開設への取組みー現状と課題ー』

講師：国本 厚氏（近畿総合通信局放送部 放送課長）

④講演『災害に備えるための地図情報の役割』

講師：西村雄一郎氏（奈良女子大学大学院人文科学系 准



教授)

⑤講演『地域のクライシスマップを作る』

講師：杉山幹夫氏 (LocalWiki Organization Japan 代表)

⑥パネルディスカッション『災害に備えるための情報基盤をどう整備するか』

コーディネータ：佐藤 周 (和歌山大学経済学部 教授)

パネリスト：村上隆二氏・西村雄一郎氏・杉山幹夫氏
村上圭子氏 (NHK放送文化研究所 主任研究員)
金子賢二氏 (近畿総合通信局 防災対策推進室長)



参加者数： 101 名

・「臨時災害放送局サポーター」の募集

開始時期：平成 28 年 4 月 21 日 (木) ~ (継続中)

内容：大規模災害に備え、被災地で臨時災害放送局の開設・運営にあたるボランティアの「臨時災害放送局サポーター」募集を開始した。

サポーターの種類：

①無線従事者

第一級陸上無線技術士、第二級陸上無線技術士、第一級総合無線通信士

②情報ボランティア

アナウンサー、ディレクター、記者、番組制作技術者、送受信技術者、IT 技術者

3 月末現在のサポーター人数：

サポーター登録者数 20 人 (うち県内登録者数 12 人)

内訳

- ・無線従事者 14 人 (第一級陸上無線技術士 11 人、第二級陸上無線技術士 3 人)
- ・情報ボランティア 6 人

今後の取組：「和歌山県内の被災地に災害発生から 24 時間以内に臨時災害放送局を開設すること」を目標にする。そのための今後は、サポーターとして協力いただける方を対象に、臨時災害放送局運営のためのセミナーや実地訓練を開催するなどして、ともにノウハウを蓄積し実践力を高めたい。

4 情報提供活動

(1) 協議会ホームページ (<http://wida.jp/>) の管理・運営。



(2) メールマガジンの配信

希望する会員あてに国・県の施策やイベント情報を月 1 回程度配信。その他、会員からの情報提供内容を随時配信。

(3) SNS を利用した広報および会員の交流促進

Facebook で協議会ページを作成。広報、およびイベントの参加申し込み受付などに利用。Twitter でも同内容を同時配信。

<https://www.facebook.com/wida.jp>

https://twitter.com/info_wida

(4) 協議会の活動を動画配信（会員限定）

- ・ Ustream 等を利用したライブ配信：講演会、地域情報化フォーラム等
- ・ ライブ配信と同内容または撮影・編集動画を配信

5 その他

(1) 近畿情報通信関係団体連携促進会議への参加

- ・ 近畿情報通信協議会（近畿地方における情報通信関係団体様同士の連携促進を目的とした協議会）に協力
- ・ 第1回 近畿情報通信関係団体連携促進会議への参加（平成28年12月6日）
- ・ 第2回 近畿情報通信関係団体連携促進会議への参加（平成29年3月21日）

以上